

土の水分量を毎日チェックして、最適な水やりタイミングを探ろう

期間目安	1週間	費用目安	中
研究タイプ	観察・データ分析	対象学年	中学生（1人〜グループOK）

1. この研究のねらい

土壌水分計（または指での確認）を使って毎日の水分量を記録し、株の様子と照らし合わせながら1週間かけて最適な水やりタイミングを探ります。

2. 仮説を立てよう

実験・調査の前に、自分なりの予想を立てておきましょう。例えば：

- 表面が乾いてから水をやる方が根がしっかり張るのではないかな
- 毎日水をやるより間隔をあけた方が良いのではないかな

ポイント：予想が外れても問題ありません。「なぜ予想と違ったのか」を考えることが自由研究の面白いところです。

3. 準備するもの

- 土壌水分計（なければ指で確認）
- じょうろ
- 記録シート

4. 進め方（1週間プラン）

1日目	測定方法を決めて記録を開始する
2〜6日目	毎日水分量と株の様子を記録し、水やりのタイミングを調整する
7日目	データをまとめ、最適なタイミングを考察する

5. 記録シートの例

日付	水分量	水やりの有無	株の様子	天気

※このフォーマットを1回分として、記録のたびに行を増やしていきましょう。

6. 進めるうえでの注意点

- 測定は毎日同じ時間帯に行う
- 水のやりすぎに注意する

7. まとめ方・考察のポイント

- 水分量と株の元気さの関係をまとめる
- 自分なりの最適な水やりタイミングを考察する

8. レポートの構成例

- 表紙：研究テーマ、氏名、学年、日付
- 研究の目的・きっかけ：なぜこのテーマを選んだか、何を知りたいか
- 仮説：実験・調査前に立てた予想
- 準備したもの・方法：使った道具・材料、実験や調査の手順
- 結果：記録表、写真、グラフなど
- 考察：結果からわかったこと、仮説との比較、理由の推測
- まとめ・感想：研究を通して学んだこと、次にやってみたいこと

